

会社概要／株式の状況 (2021年9月30日現在)



会社概要

社名	八千代工業株式会社
英文社名	Yachiyo Industry Co., Ltd.
設立	1953年8月27日
資本金	3,685,600,000円
従業員数	単独 846名 連結 6,754名
本社	〒350-1335 埼玉県狭山市柏原393番地 04-2955-1211(代表)

役員

代表取締役社長	加藤 憲嗣	常務執行役員	木原 浩之
常務取締役	三島 清憲	常務執行役員	長谷川吉保
取締役	志賀 幸光	常務執行役員	堀田 貢市
取締役	藤井 康裕 ^{※1}	常務執行役員	和田 尚宏
取締役	飯田 藤雄 ^{※1}	常務執行役員	太田 貞幸
常勤監査役	根岸 昭雄	常務執行役員	橋本 行弘
監査役	富永 和也 ^{※2}		
監査役	松本 卓也 ^{※2}		

※1 藤井 康裕氏および飯田 藤雄氏は、「会社法」第2条第15号に定める社外取締役です。
 ※2 富永 和也氏および松本 卓也氏は、「会社法」第2条第16号に定める社外監査役です。

株式の状況

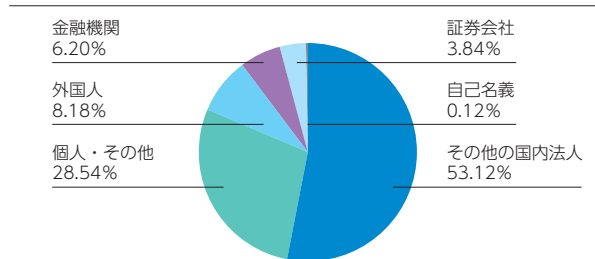
発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	24,042,700株
株主総数	3,345名

大株主の状況

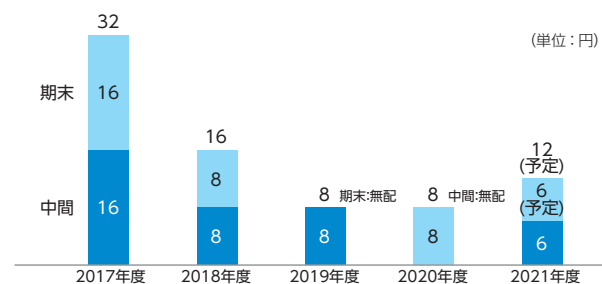
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%) [*]
本田技研工業株式会社	12,103	50.41
ビービーエイチ フォー フィデリティ ロー プライズド ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	900	3.75
大竹 好子	769	3.20
株式会社三井住友銀行	457	1.90
埼玉車体株式会社	438	1.82
株式会社SBI証券	394	1.64
株式会社三菱UFJ銀行	350	1.46
大竹 讓司	341	1.42
大竹 隆之	333	1.39
大竹 守	326	1.36

※持株比率は、自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



配当金の推移



八千代工業株式会社

埼玉県狭山市柏原393番地
 電話04 - 2955 - 1211 (代表) <https://www.yachiyo-ind.co.jp/>



八千代工業株式会社

証券コード:7298



株主の皆さまへ

2021年度 (第69期) 上半期

2021年4月1日～2021年9月30日

Index

社長メッセージ	1
連結財務諸表	2
地域別セグメントの業績 (上半期)	3
持続可能な社会の実現を目指して	4
トピックス	5
製品紹介	6
会社概要／株式の状況	裏表紙



モビリティのキーカンパニーを目指し
さらなる成長への基盤づくりを進めていきます

代表取締役社長 加藤 憲嗣

当上半期の連結業績について

株主の皆さまにおかれましては、日ごろより格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

上半期の業績は、半導体の供給不足により受注の減少がありました。日本・米州・アジアにおいて新型コロナウイルス感染症の影響による受注の減少から持ち直したことから、増収増益となりました。

これらの業績を踏まえ、中間配当は今年5月の決算発表時に公表しました通り1株につき6円とし、期末配当につきましては同6円、年間12円（前期比4円増配）を予定しております。

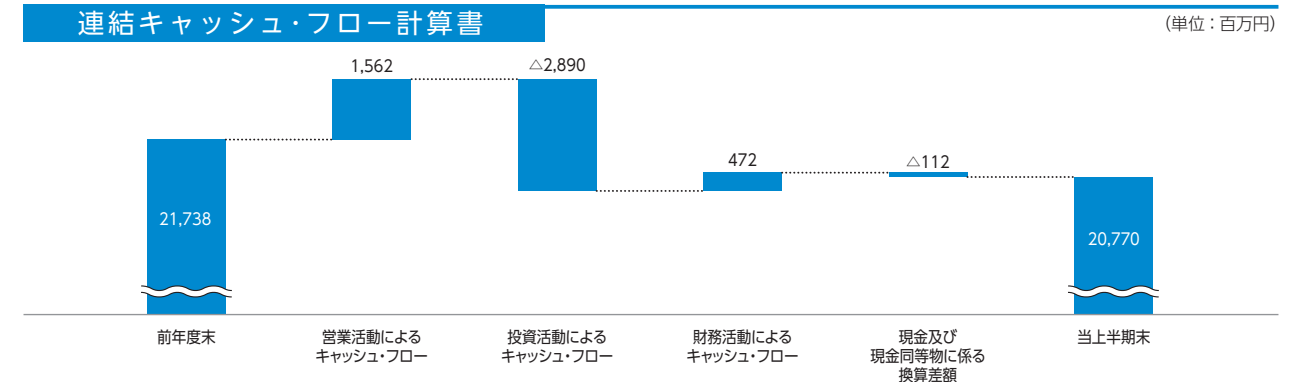
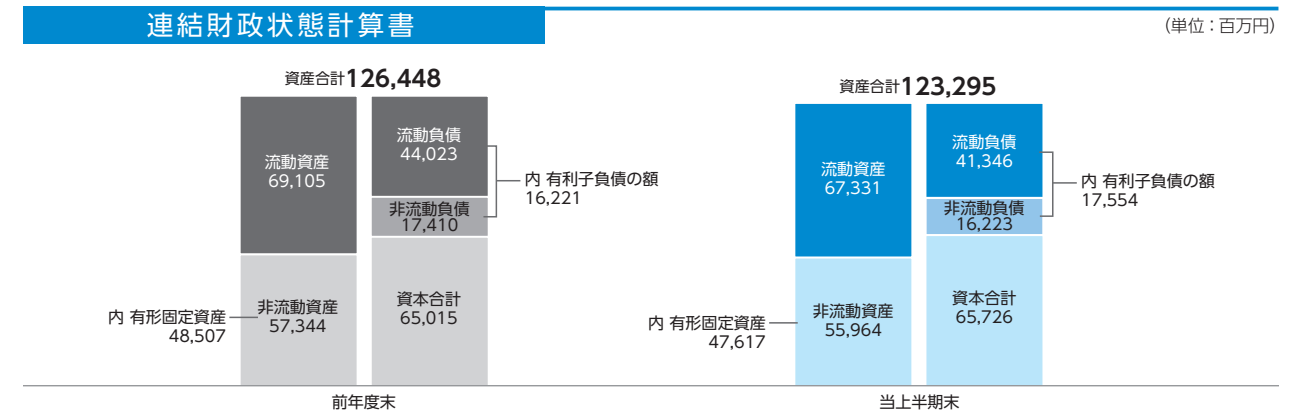
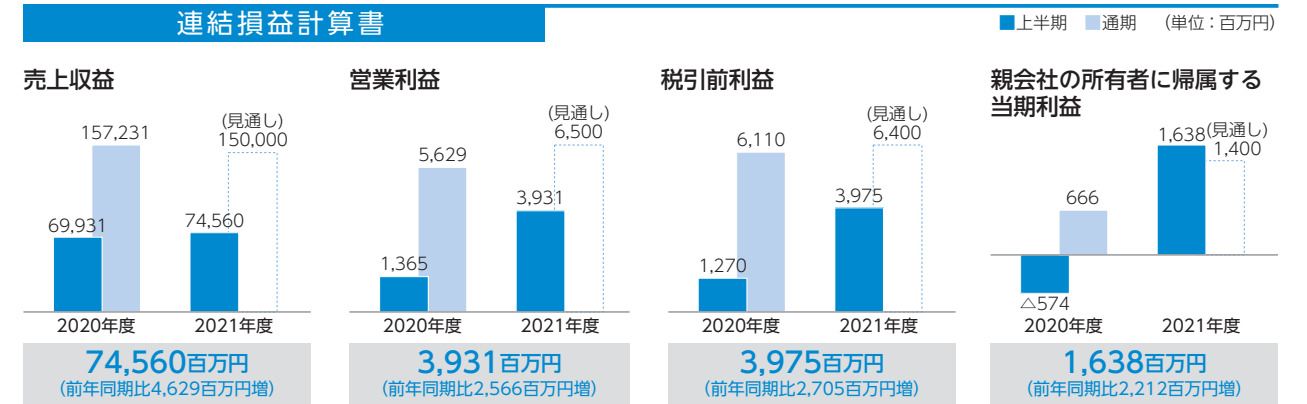
経営課題と今後について


世界中に拡大した新型コロナウイルスは、人々の生活様式を大きく変化させました。また、世界的な環境保全意識の高まりからカーボンニュートラルへの取り組みが進み、各国政府・自治体がクルマの電動化目標を明示するなど、電動化の動きが活発になりました。

当社はこれまで、社会環境やニーズの変化に合わせて自らの技術を磨き、進化させてきました。そして、この変革期において当社グループは、10年後のありたい姿を「ものづくりの弛まぬ進化でモビリティのキーカンパニーになる」とし、施策を進めています。その最初の第14次中期(20-22中期)を「さらなる成長の基盤づくり」と位置づけ、品質の高位平準化を図るとともに現状の生産規模でも確実に利益が上げられる生産体質改革や、従業員全員がより生き生きと働ける環境を目指す企業風土改革、そして事業軸において、クルマの電動化に伴う軽量化ニーズに貢献できる樹脂事業に力を集中させるなど、さらなる成長・飛躍に向けた仕込みや将来を見据えた重点施策を確実に進めています。引き続き、世界中のお客さまから当社の技術・製品が必要不可欠といわれる存在を目指して邁進してまいります。

株主の皆さまには今後とも長期的なご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当社は、国際会計基準(IFRS)に基づいて連結財務諸表を作成しています。



中国 

売上収益 22,620百万円
(前年同期比 5,868百万円 減)

税引前四半期利益 3,704百万円
(前年同期比 2,241百万円 減)

連結子会社 2社

- 為替換算上の増収影響はあったものの、半導体供給不足による受注の減少などにより減収
- 原価改善効果はあったものの、受注の減少などにより減益


日本 

売上収益 11,980百万円
(前年同期比 3,127百万円 増)

税引前四半期利益 792百万円
(前年同期比 2,607百万円 増)

連結子会社 2社

- 半導体供給不足による受注の減少はあったものの、新型コロナウイルス感染症による受注の減少からの持ち直しなどにより増収
- 受注の増加や原価改善効果などにより利益改善

アジア 

売上収益 25,860百万円
(前年同期比 5,783百万円 増)

税引前四半期利益 771百万円
(前年同期比 794百万円 増)

連結子会社 7社

- 依然として新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、大幅な受注の減少があった前年同期に比べ、増収
- 受注の増加などにより利益改善

米州 

売上収益 14,099百万円
(前年同期比 1,586百万円 増)

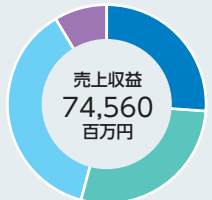
税引前四半期利益 △1,399百万円
(前年同期比 1,533百万円 増)

連結子会社 7社

- 半導体供給不足による受注の減少はあったものの、新型コロナウイルス感染症による受注の減少からの持ち直しなどにより増収
- 受注の増加や製品保証引当金繰入額を計上した前年同期に比べ、利益改善

(ご参考) 製品別の売上収益

■ 燃料タンク	19,637百万円 (前年同期比 912百万円 減)	■ 二輪部品	27,802百万円 (前年同期比 7,065百万円 増)
■ サンルーフ	20,873百万円 (前年同期比 3,063百万円 減)	■ その他*	6,247百万円 (前年同期比 1,538百万円 増)



*その他の内訳…補修パーツ、板金部品、樹脂・塗装など

企業価値向上に向けた活動をご紹介します

これまで当社は、投資家をはじめとするあらゆるステークホルダーの皆さまに支えられ、60年以上にわたってものづくりを続けてきました。私たち当社グループは、世の中のお役に立ち、世界中の人々を笑顔にするものづくりを追求しながら、“持続可能な社会の実現”に取り組んでいます。9月末に発行した「CSR報告書」では、当社が昨年1年間この実現に向けて取り組んだ活動を紹介しています。



CSRへの取り組みはこちらでアクセスしてください

八千代工業 CSR 



取り組み事例 インド生産拠点で再生可能エネルギーの活用を開始

ヤチヨ インディア マニュファクチャリング プライベート リミテッド (YIM、インド) では、太陽光パネルの導入・設置を進め、2021年11月から稼働を開始いたしました。

YIMでは新興国をターゲットにした燃料の蒸散を抑える4種6層構造を用い、環境に配慮した樹脂製の燃料タンクを主要取引先であるHondaとスズキ株式会社のインド子会社マルチ・スズキ・インディア社向けに生産しております。

今回設置した太陽光パネルは年間620tのCO₂が削減でき、今年度ベースで電気使用量を算出すると、約25%相当が再生エネルギーに転換できると見込んでいます。

当社は事業運営に加え、日ごろから取り組む省エネルギーや節水、安全・品質活動など、すべての行動がサステナビリティ活動と密接につながると考えております。引き続き、環境負荷低減に努めてまいります。



ラジャスタン州タプカラに拠点をおくYIM



YIMの工場建屋に設置した太陽光パネル

TOPICS▶▶ 米州3拠点がHondaから量産パーツ部門とサービスパーツ部門において優秀賞を受賞

当社は今中期において、「グローバルQD*体質の強化」を重点施策に置き、製造現場における品質活動だけではなく、新機種立ち上げや製品開発まで枠を拡げた全方位品質施策展開により、品質の盤石化を目指す強化施策を進めてきました。

この取り組みが実を結び、Hondaサプライヤーカンファレンスにおいて米州の3拠点が2020年度サプライヤーアワードを受賞しました。この賞は、昨年度Hondaと取引をした部品サプライヤーの中でも、特に優れたパフォーマンスを発揮した企業に贈られるものです。

今後も品質向上活動を続けてまいります。

*QD…Quality (品質) Delivery (納期)

エーワイマニュファクチャリング リミテッド (USA)

ヤチヨ メキシコ マニュファクチャリング エスエーデシーバイ (Mexico)

ヤチヨド ブラジル インダストリア エコメルシオ デ ベサス リミターダ (Brazil)

量産パーツ部門
2019年度、2020年度と2年連続受賞

量産パーツ部門・サービスパーツ部門

サービスパーツ部門

TOPICS▶▶ 土田和歌子選手 8度目のパラリンピックに挑戦

当社所属のパラアスリート土田和歌子選手が、当社製車いすレーサーを駆り、トライアスロンと車いすマラソンの2競技で東京パラリンピックに出場し、トライアスロンで9位、車いすマラソンでは4位入賞を果たしました。

また、オリンピックの開会式では大会コンセプトである「多様性と調和」を象徴する一人として聖火ランナーを務めました。

引き続き、土田選手の活躍にご注目ください。



写真提供：共同通信社

TOPICS▶▶ 陸上競技部 東日本実業団対抗駅伝競走大会16位

当社陸上競技部は、11月3日に開催された東日本実業団対抗駅伝競走大会に出場しました。結果は残念ながら16位、全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）出場を逃しました。しかし、冬季に開催されるトラックレースやマラソンには所属選手が出場します。

陸上競技部の活躍にご注目ください。



当社グループの主な製品

サンルーフ

運転補助装置
Honda・テックマッチックシステム
Honda・フランツシステム

樹脂部品

燃料タンク

補修パーツ

排気系部品
メタルキャタライザー

マフラー

車体系部品
スイングアーム
フレーム

ドライビングシミュレーター

製品特集

新たなモビリティへ樹脂事業を拡大

樹脂事業の新業容領域の製品として船外機のエンジンアンダーカバーを柏原工場にて生産しております。

これまでの機種に加えて新機種を受注し、年内に生産開始を予定しています。船外機部品は以前から当社で生産しているクルマの外装部品とは違い海水や

紫外線の影響を強く受ける製品となります。

当社は今後も新業容における樹脂製品の営業活動により幅広い製品への拡大展開を進めモビリティのキーカンパニーへ向けて歩んでまいります。

